

地震時計

大きな地震が起こったらあなたは何をしますか？

どこで、何をしていますか？

家庭や学校、職場やデパート、
電車やバス、自動車運転中など、
いろいろな状況が考えられます。

避難のタイミング

こんなときに避難します。

- ・防災関係機関の避難指示があったとき
- ・自主防災組織などが判断したとき
- ・初期消火に失敗し火災が広がったとき
- ・周辺地域に火災が発生し延焼して危険 なとき

※学校やデパート、電車やバスなど人が多くいる場所は、
誘導員や先生の指示に従います。

※避難時には、必ずブレーカーを切ってください。

地域での安全・救助

- ・まず、自分自身、家族の安全。
- ・次に、隣近所や災害弱者の方の救助。
- ・阪神淡路大震災で命を救った人は、ほとんどが近隣の住民の方です。
- ・自主防災組織には、防災活動用の資機材が設置されています。

10分～数時間

屋外での注意

ブロック塀、ビルの看板、ガラスの破片、
落下物、電線など足元に注意。

阪神・淡路大震災でライフラインが、
全面復旧までかかった日数は、
水道、90日
電気、7日
都市ガス、84日

4日目

～3日目

地震発生

3秒～1分

身を守るため、テーブルの下に隠れる。
周囲の安全確認を行う。
寝ている場合は、布団で頭をカバーする。

屋外にいたら。
ブロック塀や窓ガラス等から離れ
頭をカバーしてしゃがむ。

1～2分

火を止める。火を消す。
ぐつぐつ煮えた鍋は、やけどをする危険があります。
大きなゆれが取まってからでも遅くありません。
台所の近くには、消火器や、置き水を。

**海岸沿いでは、
高い所に逃げる。**

避難経路の確保 周辺の安全確認

避難経路を確保する。
ドアを開く、
しかし、すぐに飛び出てはいけません。
火災が発生した場合は、
煙が入ってくる。
エレベータに乗っていたら、
すぐに各階のボタンを押し
最寄の階で降りて避難する。
停電してもあわてない。

3分

5分

運転中の場合

左側に止め、ラジオを聴いて、情報を得る。
キーは付けておく。

生活用品備蓄で
対応

壊れた家に入らない
我慢と助け合い

緊急連絡が優先
緊急車両が優先
車は使わない
(被害状況により
交通規制を行います。)

10分